

442

七月廿日(木)

棚外労役を繞り、議論尚ほ沸騰してゐる。なかの  
題は、先に"否"と登録法者が一致に労役を拒  
絶すれば解決するのだ。マコイ収容所では、ジュネーヴ  
條項を楯として、強制労役の不干渉を交渉した  
結果、何等感情的の阻礙なく、これを打ち切つて  
了つてゐる。

尚ほ石塚君の話によると、ワイスコンシンのマコイ兵營  
に最近到着したハワイ島の日軍兵は統計一千四  
百名に達して居り、其の中二名が通年或は文書の  
検閲に當つて居つてゐる。併かも日軍兵の全部は  
収容の日中、ルル村には新然物と言はず、敬遠  
してゐるが、僅に一名だけ親しい情を以て接し、  
其れも公然には出来ぬのだと言ふ。

木村君の主張に基き、子息を兵に持つ親連は  
卷つて其家族に復歸同徳すべき運動を起し、あら  
へて請願すべきものとして、夫々の請願書と作製し、署名  
の上提出する事になった。又一般interned 諸君  
も亦一方の家族全權を申請する運動に着手す  
るは、之れが考慮中だと傳へらる。政府に對し、外  
部からの促進にて好まじき事だと思ふ。

七月三十一日(金)

午の暑氣猛烈と加へ、健康に頗る悪い。現状  
の生活には種々の不協からゐるが、戦時中の混亂